

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1, 月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190586017701	科目番号 / Course code	05860177
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 13321_005		
授業科目名 / Course title	国際社会を理解するための多様な視点 (国際的視点に立った法と政治) / Law and Policy from the Global Viewpoint		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	嶋野 武志 / Shimano Takeshi, 松島 大輔 / Matsushima Daisuke		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	嶋野 武志 / Shimano Takeshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	嶋野 武志 / Shimano Takeshi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部, 教育学部, 経済学部, 薬学部, 水産学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	shimano nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	研究開発推進機構 (人材育成部門)		
担当教員TEL / Tel	095-819-2229		
担当教員オフィスアワー / Office hours	11:00?16:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>人間が集団生活を営むためには、様々な決まりやルール、即ち法を定めておかなければならない。しかも、国際的交流が飛躍的に増加すると考えられる21世紀においては、自らが生活する国・地域の法のみならず、異なる歴史・文化を有する国・地域の法についても理解できる能力を養っておくことが重要である。</p> <p>この科目においては、国際法に関わる交渉に参加した経験を有する教員の指導の下、そもそも法とは何かを学んだ上で、他の国・地域の法、さらには国際社会を規律する国際法を概観し、法の多様性を理解するとともに、そうした法を生み出す場である政治の現実についても学ぶことを通じ、グローバル化が進展する世界において必要とされる人間の多様性を理解することのできる能力を養う。</p> <p>なお、企業活動に関する法に関連して、近年、関心の高まっているベンチャー企業やスタートアップ企業に関する話題も取り上げる。</p>		
授業到達目標 / Course goals	法や政治の問題を考えることを通じて、法、さらには人間の多様性を理解しうる能力を身につけることにより、そうした多様性を前提としながらも、社会を安定的に営んでいくために必要な「利害調整能力」の基礎を確立する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	レポート及び試験を通じて行う。 法、さらには人間の多様性を理解する態度が見られるかどうかを特に評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	毎日、新聞を読むことを勧めたい。また、必要に応じて、書籍を紹介する。		
キーワード / Keywords	法、法の背景としての歴史・文化、法を生み出す政治、利害調整、多様性		
教科書・教材・参考書 / Materials	特になし。(但し、授業開始後、必要に応じて指定することはある。)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	特になし。(但し、我が国の法が重要な題材となるため、日本語を解せることが望ましい。)		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	興味や関心がある人はどんどん来てください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	嶋野武志 担当教員は、国内法制定作業への参画や国際通商交渉への参加の経験などを有し、それを踏まえた講義を行う。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	導入部分として、そもそも法とは何かを学ぶ。 まず我々の生活や社会のどのようなところに法が登場するのか、そうした法はどのように形成されるのかを学ぶ。
第2回	法についての様々な思想や歴史を学ぶ。 これにより、法とは誰かから与えられるものではなく、社会が生み出していくものであることを理解する。
第3回	民事に関する法について学ぶ。（民事法1） まず財産法について、身近な取引や契約、交通事故に関わる損害賠償などの実例について、どのような問題がどのように解決されているかを学ぶ。
第4回	民事に関する法について学ぶ。（民事法2） ここでは、家族法について、結婚・離婚、相続などの実例を通じて、どのような問題について、どのような解決が行われているかを学ぶ。
第5回	次に企業活動に関する法について学ぶ。 ここでは、企業とは何か、企業は誰によってどのように作られるのか、その取引においてどのような問題が生じるのかについて学ぶ。 また、近年、関心が高まっているベンチャー企業、スタートアップ企業などについても、取り上げる。
第6回	刑事に関する法について学ぶ。 人が罰せられるのはどのような場合か、何故罰せられるのか、罰する場合の手続はどのようなになっているのかなどを知ることにより、刑事法の基礎を学ぶ。
第7回	国家に関する法である憲法・行政法を学ぶ。 ここでは、国家の運営、国家と国民の関係などについて学ぶ。
第8回	その他の法について学ぶ。 労働法や環境法など、現代において重要性を増している分野の法を紹介する。
第9回	第7回が終了した時点でレポートを作成し、そのうちのいくつかを題材として議論を行う。 これにより、国内法に関わる問題であっても、極めて多様な考え方が成り立ちうることをあらためて実感する。
第10回	次に、英米法やヨーロッパ法など、代表的な外国法を概観する。これにより、歴史や文化が異なる国・地域では、類似の問題であっても、異なる解決が行われることを理解する。
第11回	国際社会を規律する国際法について学ぶ。 国内法と国際法の共通する部分と、紛争解決システムなどの異なる部分を理解する。
第12回	法に対する一定の理解を前提に、法を生み出す政治の現実を学ぶ。 まず身近なところとして、国内法について、現実には如何なる「利害調整」が行われているかを学ぶ。 また、グループワークの実施を検討したい。
第13回	ここでは、我が国の政治史を概観し、法を生み出す政治における「利害調整」のあり方も時代により異なることを理解し、法、さらには人間の多様性を学ぶ。 また、グループワークの実施を検討したい。
第14回	国際法を生み出す国際政治の現実を学ぶ。 特に、各国の利害が正面から衝突する国際通商交渉を例にとり、国際的な場で如何なる「利害調整」が行われているかを学ぶ。 また、グループワークの実施を検討したい。
第15回	国際政治についても、時代により、地域により、様々な「利害調整」が行われてきたことを知り、法、さらには人間の多様性を学ぶ。 また、グループワークの実施を検討したい。
第16回	試験を行う。

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1, 火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190586027901	科目番号 / Course code	05860279
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 15111_005		
授業科目名 / Course title	国際社会を理解するための多様な視点 (グローバル人材へのリテラシー~グローバル人材 2.0~) / Global Literacy - Passage to the Global Innovator (Global HRD 2.0)		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松島 大輔 / Matsushima Daisuke		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	松島 大輔 / Matsushima Daisuke		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	松島 大輔 / Matsushima Daisuke		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1、2、3、4年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	daisuke-matsushima nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してくださ い)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟2階		
担当教員TEL/Tel	095?819?2545		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前に予約を取る		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	グローバル教育の基礎を学ぶ		
授業到達目標/Course goals	国際社会で活躍するリテラシーが獲得できるようになる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート、授業への参画、発表		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	グループによるプレゼン		
キーワード/Keywords	グローバル人材2.0、グローバル、国際社会、グローバル、社会課題		
教科書・教材・参考書/Materials	松島大輔(2012)『空洞化のウソ』講談社新書		
受講要件(履修条件) /Prerequisites	全学の方針に従う		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) /Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス
第2回	グローバルカ
第3回	国別発表 1
第4回	国別発表 2
第5回	国別発表 3
第6回	国別発表 4
第7回	国別発表 5
第8回	国別発表 6
第9回	国別発表 7
第10回	国別発表 8
第11回	国別発表 9
第12回	国別発表 1 0
第13回	国別発表 1 1
第14回	国別発表 1 2
第15回	まとめ

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1, 火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2019/11/27 ~ 2020/02/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190586028301	科目番号 / Course code	05860283
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 15151_005		
授業科目名 / Course title	国際社会を理解するための多様な視点 (グローバル化時代の社会問題) / Social Problems in the Age of Globalization		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松村 真樹 / MATSUMURA Masaki, 松島 大輔 / Matsushima Daisuke		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	松村 真樹 / MATSUMURA Masaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	松村 真樹 / MATSUMURA Masaki		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	Ed, Ec, Ph, Fi, SGHSS		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	masaki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	Office for Global Relations (one floor above the room B-15)		
担当教員TEL / Tel	095-819-2253		
担当教員オフィスアワー / Office hours	Thursday 16:30-17:30 or by appointment		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	This course introduces students to the major sociological perspectives on various social issues arising from globalization. Topics include the globalizing economy, social inequalities, international migration, ethnic and religious conflicts, women and children, global health, and the environment. Students will examine global issues in depth through examples.		
授業到達目標 / Course goals	At the end of this course, you should be able to: (1) name some global issues. (2) discuss global issues using historical and theoretical perspectives.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	Quizzes (30%) Two short reports (70%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	Preparation: Watch TV news about world affairs regularly. Review: Search further information on the news and topics that you have learned in class.		
キーワード / Keywords	global sociology, international migration, social inequality, human security		
教科書・教材・参考書 / Materials	Not specified.		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	Get familiar with the LACS beforehand.		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
43802	The Making of Global Society
43809	Global Economy and International Division of Labor
43816	Globalization and International Migration
43472	Globalization and Ethnicity
43479	Poverty and Inequality in the Age of Globalization
43486	Globalization and the Vulnerable: Women and Children
43493	Global Health and the Environment
43500	The Globalization of Cultures and the Media

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1, 火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2019/11/27 ~ 2020/02/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190586028301	科目番号 / Course code	05860283
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 15151_005		
授業科目名 / Course title	国際社会を理解するための多様な視点 (グローバル化時代の社会問題) / Social Problems in the Age of Globalization		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松村 真樹 / MATSUMURA Masaki, 松島 大輔 / Matsushima Daisuke		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	松村 真樹 / MATSUMURA Masaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	松村 真樹 / MATSUMURA Masaki		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	教育, 経済, 薬学, 水産, 多文化社会		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	masaki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	グローバル連携機構教員室 (B-15教室の真上)		
担当教員TEL / Tel	095-819-2253		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜16:30~17:30, 又はメールによるアポイントメント		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	グローバル社会をとりまく諸課題について深く理解するために必要な基礎知識の習得を目指す。経済のグローバル化、国際人口移動、社会的不平等、民族や宗教の違いから生じる摩擦、途上国の貧困、国際保健医療、そして環境問題などについて、具体的事例を概観し、その背景を学ぶ。		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化時代の課題には何があるか、いくつかの例を挙げるようになる ・グローバル化時代の課題について歴史及び理論的観点から説明できるようになる 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	小テスト複数回 (30%) 小レポート2本 (70%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習: 外国のニュースを見たり、新聞を読むなど、日ごろから海外事情に興味を持つ 事後学習: 授業で紹介した諸外国の事情について、自分でさらに詳しく調べる		
キーワード / Keywords	国際社会学、国際人口移動、格差と不平等、人間の安全保障		
教科書・教材・参考書 / Materials	特に指定しない。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	LACSの使い方に慣れておくこと。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
43802	グローバル化とはどのような現象か
43809	経済のグローバル化と国際分業
43816	グローバル化と国際人口移動
43472	グローバル化とエスニシティ
43479	グローバル化時代の格差と貧困
43486	グローバル化の中の弱者：女性と子ども
43493	グローバル化時代の健康と環境
43500	文化のグローバル化とメディア